

【計画について】

計画の趣旨・性格

経済活性化のためのトータルプラン  
産業分野において、生産から加工、流通、販売に至る各段階における本質的な課題を明らかにし、産業分野間の連携を意識した総合的な戦略

計画の目標年次と見直し

中長期的な視点(概ね10年)に立ちながらも、当面の目標を平成23年度末に置く  
毎年、産業成長戦略の充実とあわせて、地域のアイデアを掘り起こし、地域アクションプランに新たな活動を取り入れていく。

高知県産業振興計画「中間取りまとめ」から「最終取りまとめ(H20年度版)」へのバージョンアップ

POINT 地域アクションプラン

・県内7ブロック 計221件の取組

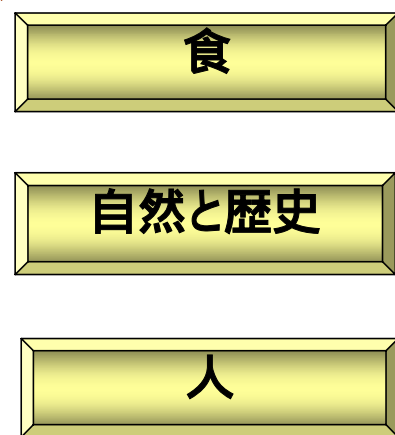
POINT それぞれの施策につき、5W1Hを明確化

・全ての施策に予算措置 総計85億円

POINT 追加した若しくは大幅に強化した主な施策

- (1) 地産外商戦略(総合支援補助金、アドバイザー派遣)
- (2) 担い手確保(滞在型農園(クラインガルデン)整備など移住促進)
- (3) 輸出促進(コーディネーターの配置、4県連携での海外アンテナショップの設置、国内外での商談会の開催)
- (4) 産業技術人材の育成(機械・金属・食品加工)
- (5) 観光(土佐・龍馬であい博、2次交通整備、観光圏)

【本県の強み】



SWOT分析

強みを活かす。

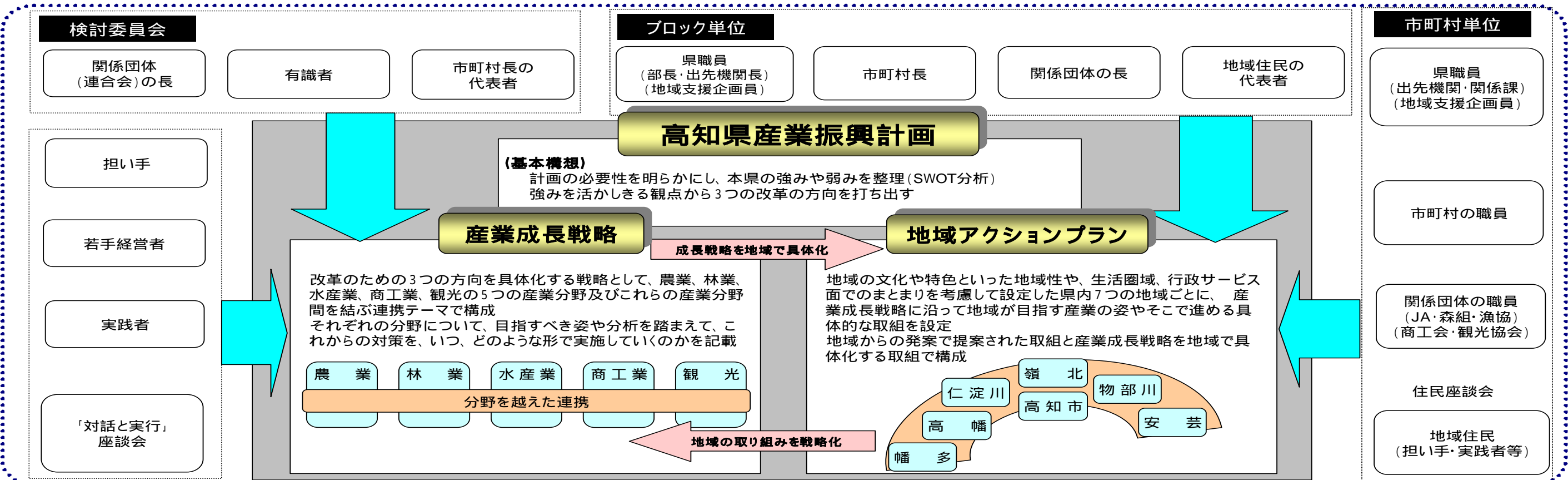
【改革のための基本方向】

(1) 足下を固め、活力ある県外市場に打って出る

(2) 産業間連携の強化

(3) 足腰を強め新分野へ挑戦

【計画の構成】~多くの方々と徹底した議論~



# 1 足下を固め、活力ある県外市場に打って出る

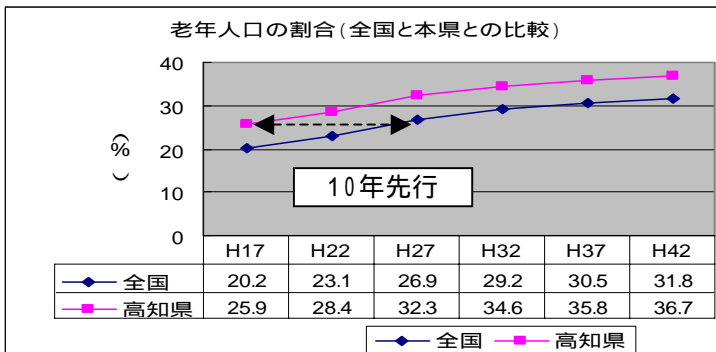
## 現状

人口が全国に15年先行して自然減

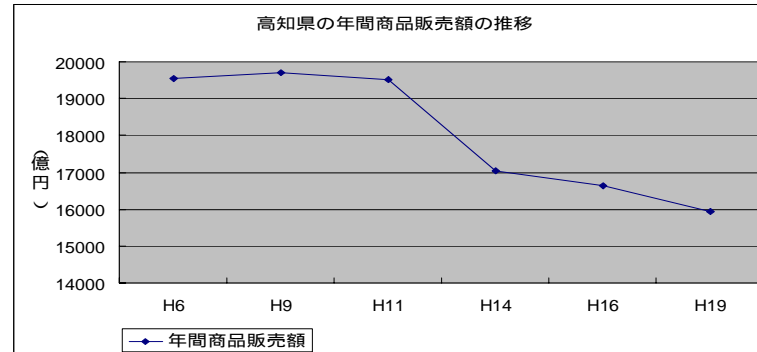
人口自然増減数(人)

|     | 高知県    | 全国      |
|-----|--------|---------|
| S60 | 2,462  | 679,294 |
| H2  | -386   | 401,280 |
| H7  | -1,022 | 264,925 |
| H11 | -1,931 | 195,638 |
| H12 | -1,754 | 228,894 |
| H13 | -1,376 | 200,331 |
| H14 | -1,637 | 171,476 |
| H15 | -2,288 | 108,659 |
| H16 | -2,500 | 82,119  |
| H17 | -3,071 | -21,266 |
| H18 | -2,912 | 8,224   |

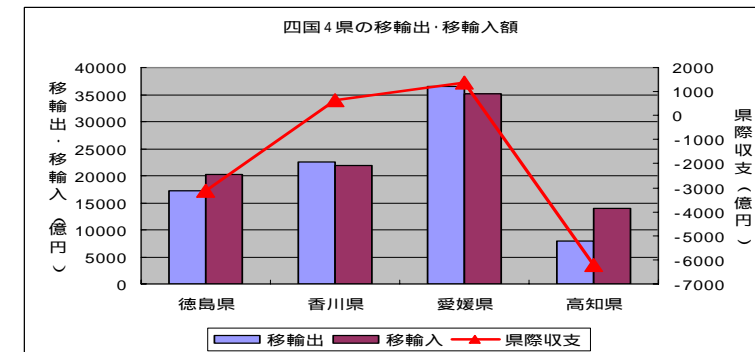
高齢化率の上昇も全国に10年先行



県内の年間商品販売額は大きく減少



県内市場は県外資本に食い込まれている状況



## 目指す方向・取組の柱

### 1 地産地消の徹底

生産地の地産地消を徹底することで、県内産業の力を強め、守りから攻めに転じます。

### 2 地産外商の推進

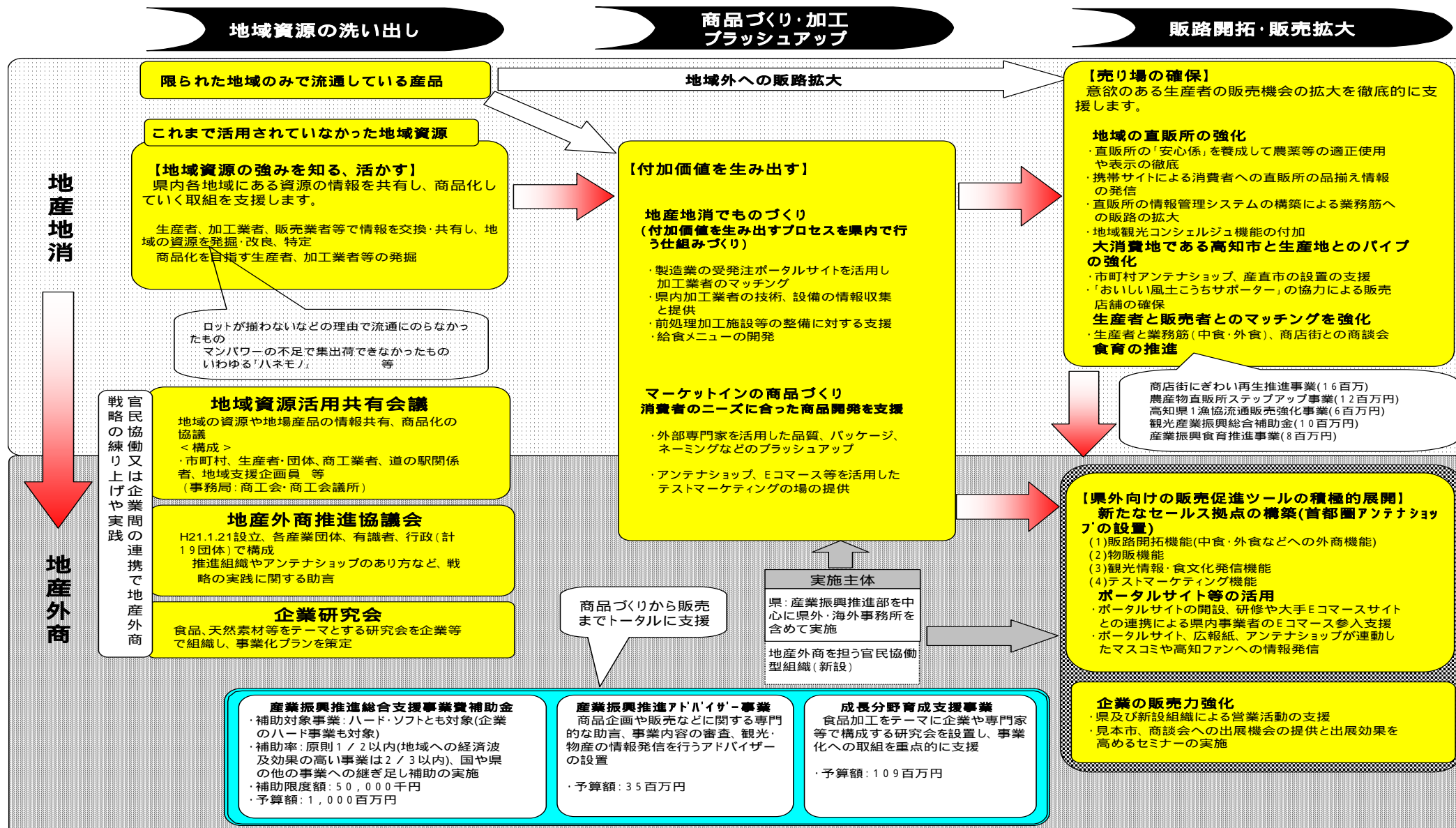
地産地消を徹底して足下を固めたうえで、県外・海外を視野に入れた市場戦略を確立し、外に打って出ます。

### 3 海外販路開拓の挑戦

県内企業の輸出拡大を短期的に実現

#### ポイント

- 分野別・国別勉強会
- 国内でのビジネスマッチング
- 海外でのビジネスマッチング

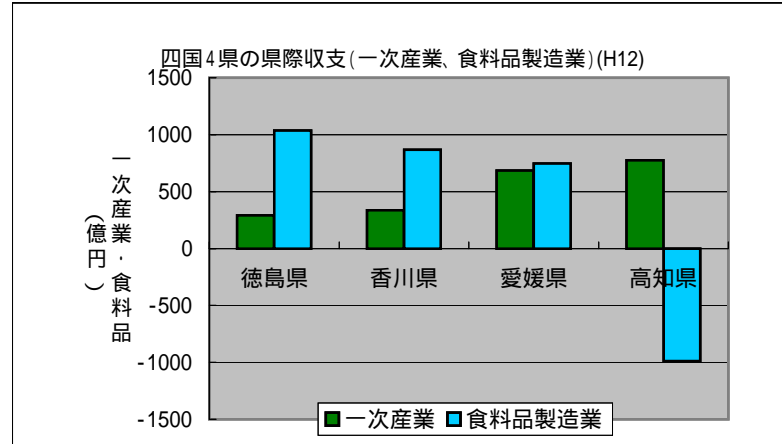


# 産業間連携の強化

## 現状

### 極端に弱い産業間連携

強みのある第1次産業から他産業への経済効果の波及が弱い



## 目指す方向

### 1 高付加価値化の推進

他産業への波及  
強みのある第1次産業から他産業への波及が必要

物流コスト・時間・ロットの問題を克服するには、高単価、則ち高付加価値な加工品の開発・販売が必要

産地間競争激化への対応  
他地域との差別化が必要

## 取組の柱

### 加工産業化の推進

原材料調達からの一貫した相談支援体制  
商品開発を専門技術でバックアップ  
食品加工については、地域アクションプラン(全221件)で47件の取組(シイラ、ウルメ、新高ナシ、土佐文旦の加工など)

### すそ野が広い観光産業の戦略的展開

観光と物販(「食」、みやげ物)の連携。一次産品の産地の観光地化。  
地域アクションプランで29件の取組(ニューツーリズム・観光への地域産品の活用)

## 産業間連携(食品加工)の推進フローと支援の枠組み

### 地域の加工資源

加工産業化のために

### 商品開発

### 加工

### 流通・販売

工業技術センター等による技術支援

農商工連携ファンドの活用

工業技術センター等による衛生管理の高度化のための研修実施

一次産業と工業団体との意見交換の実施及び省力化等の取組

前処理加工設備や冷凍保管設備等の整備支援

観光との連携

「龍馬伝」タイアップ商品の開発や物産販売との一体的なセールス活動など

地域資源(ゆず等)を活用する食品工業の集積

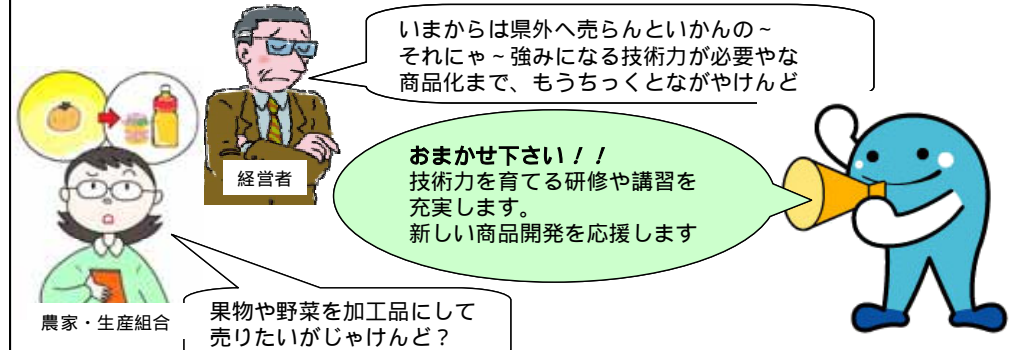
ゆずクラスター推進事業

個別の事業プランごとに、計画作成から実行までをトータルでサポート

体制：産業振興推進部に食品加工推進室の設置  
地域で産業振興推進監がトータルサポート  
支援策：産業振興推進総合支援事業費補助金、産業振興推進アドバイザー事業、成長分野育成支援事業

## 産業技術人材の育成

産業を振興するため、企業の「技術人材」の育成や、商品開発を支援するとともに、地域の方々が食品加工を行うお手伝いをします。そのために、工業技術センターを始めとする県の試験研究機関が、外部の専門家も活用して全力で支援します。



### 産業技術人材育成事業

製造技術や品質管理の研修により、産業の担い手となる製造技術者を養成します。研修14コース

### 食品加工特別技術支援員

外部人材を登用し、研修、技術相談、商品開発の支援を進めます。

### 技術指導アドバイザーによる企業活動支援事業

食品加工、機械、金属加工などの専門分野の技術指導アドバイザーを企業へ派遣し、企業技術者の育成、企業の技術力の強化、新製品(商品)の開発を促進します。

### 人材育成研修の充実

H20: 9コース  
H21: 14コース 400名  
・地域食品加工者育成のための技術支援  
・電子機器ノイズ対策技術研修  
・熱処理研修会 等

### 食品加工、機械・金属加工分野等の技術相談、巡回指導の強化

食品加工特別技術支援員による支援強化  
・商品の開発支援  
・食品加工に関する技術研修  
・食品加工に関する技術相談

特定の課題に対して集中的に支援  
企業技術者の育成により、企業の技術力の強化を図る  
新製品(商品)の開発を促進

H20事業費 1,757千円

H21事業費 18,046千円

主な取組

## 2 すそ野が広い観光産業の戦略的展開

### 観光八策による滞在型・体験型観光の推進で

400万人観光・1,000億円産業へ

観光はすそ野が広く、他分野への波及効果が大

### 滞在型・体験型観光の推進

- ・花・人・土佐であい博での地域の取組(県内74ヶ所)を本年も実施、前年の経験を活かしPDCAでステップアップを地域支援企画員が支援します。
- ・併せて郷土料理のレシピの開発や地域色のある土産品づくりを推進することで、一人当たり観光消費額の拡大をめざします。
- ・その上で広域周遊ルートづくりや広域観光情報の発信など、ワンストップサービスを担う地域コーディネーター組織の立ち上げを支援します。
- ・体験メニューの充実や農林漁家民宿の開業など受け入れ態勢づくりなど、既存・新規のグリーンツーリズム、ブルーツーリズムの観光商品化をめざします。

### <地域アクションプランにおける事例>

#### 四万十・足摺エリア観光圏の始動 ～本格的な広域観光の実現～

- ・圏域内での広域周遊ルートづくり
- ・連泊優待サービスの実施
- ・観光客用クーポン付きガイドブックの作成
- ・地域食材を活かした統一メニューの提供
- ・QRコード等を利用した観光情報提供システムの確立
- ・レンタサイクルや漁船による特長ある二次交通システムづくり

他の地域ブロックへも拡大

#### 世界ジオパークの認証へ ～新たな観光資源の発掘と磨き上げ～

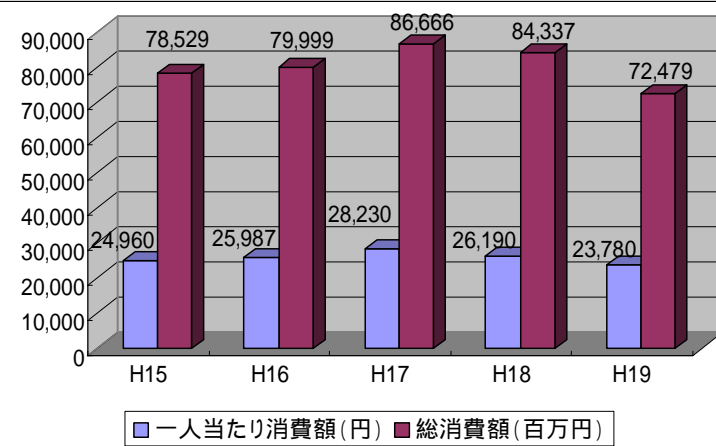
地質遺産を活かしたニューツーリズムの展開をめざして高知県ジオパーク連絡協議会を設立(H21.2.13)

- <室戸地域>
- ・室戸ジオパーク推進協議会の設立
  - ・日本ジオパークの認定(H20.12.8)

- <仁淀川・四国カルスト地域>
- ・仁淀川・四国カルストジオパーク推進協議会の設立

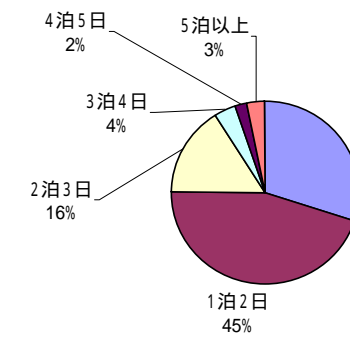
(現状)

### 伸びない観光消費額



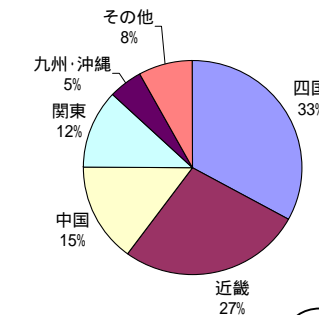
### 日帰りと1泊で75%

宿泊数別割合(%) (平成19年高知県観光客動態調査より)



### 近隣地頼みの入込み

発地ブロック別割合(%) (平成19年高知県観光客動態調査より)



「龍馬伝」を活かす

### 二次交通の確保(マイカー観光からの脱却)

・JRや航空機で高知を訪れる観光客の利便性を高め、近隣地頼みの観光からの脱却を図ります。  
(本県への入込みの6割がマイカー、観光バスを合わせると8割強)

### 首都圏など巨大市場をターゲットにした誘客

・「龍馬伝」の放送を最大限に活かし、全県的な観光振興につなげるため、「土佐・龍馬であい博」を開催します。  
・首都圏でのアンテナショップやマスメディアを活用した観光と物産の一元的な情報発信など、効果的な観光PR、プロモーション活動を展開します。

### 二次交通の整備

～点在している観光スポットを結びつけ、魅力ある周遊ルート確保～

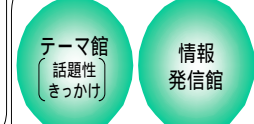
- ・龍馬伝ゆかりの地などを加えた周遊バスの運行体系の強化と、新たに定期観光バスの運行
- ・タクシー業界と提携した観光ガイドタクシーの推進(具体例:幕末維新をテーマとしたタクシープランの提案など着地型の旅行商品づくり)
- ・公共交通を使ったモデルコースの設定やウェブサイトを活用した案内情報の充実
- ・四国が連携した優待レンタカー制度の導入

土佐・龍馬であい博 ～「龍馬伝」の放送をとらえて観光ビッグ・バンへ～  
一過性に終わらせない 観光ツアーを呼べる観光商品づくり 県内全域をフィールドにする

総合アドバイザーの全国的な視点からの助言による効果的な事業の展開

- 全国への情報発信
- ・テレビ等マスメディアを活用した首都圏など新規市場へのPR
  - ・龍馬ゆかりの府県等と連携したPR
  - ・企業商品を活用したPR
  - ・ツアー商品化に向けた旅行会社へのセールスやモニターツアーの実施

### コンシェルジュ機能の強化



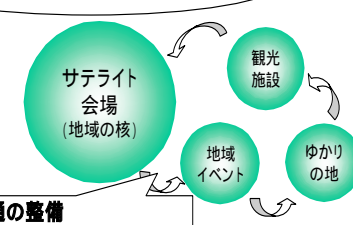
土佐・龍馬であい博終了後も情報発信機能を継続

行ってみたい 体験したい 食べてみたい 買ってみたい また来たい

- 【観光・物産の一元的な情報発信】
- ・観光客へのプラスアルファの情報提供
  - ・地域イベントや体験型観光等のリアルタイムで確実な情報提供
  - ・二次交通の詳細な情報提供
  - ・ニーズに応じた観光ガイドの活動情報の提供
  - ・地域への誘導を促す情報
  - ・地元ならではのグルメ等の物産情報の提供
  - ・その他観光客の様々なニーズに合わせた詳細な情報の提供

滞在期間の延長!  
リピーターの増加!  
「クチコミ」による高知のイメージアップ!

### サテライト会場への誘客



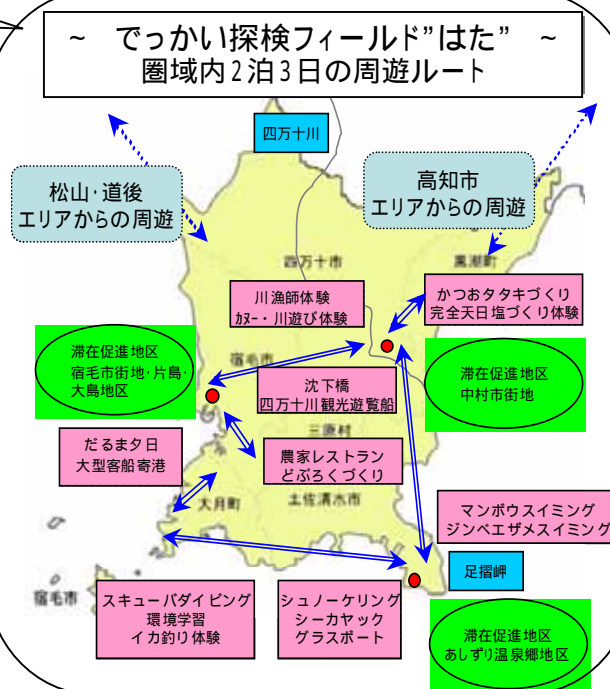
- ・二次交通の整備(周遊バス、観光ガイドタクシー等)
- ・サテライト会場での広域の観光情報の提供
- ・地域イベントの開催
- ・まち歩き観光の拡充
- ・物産販売
- ・土産品の開発
- ・観光ガイドの養成

- 補助金による支援
- ・地域支援事業
  - ・地域イベントの実施や磨き上げ
  - ・イベントに使用する施設の改善に要する経費への補助
  - ・サテライト会場支援事業
  - ・展示品、展示工事、展示什器に要する経費への補助

### 文化施設での展開

- ・幕末などの特別企画展の開催
- ・県民向けの高知の歴史や偉人の講座

高知での消費拡大  
観光による産業振興  
県全域の賑わい・活力向上



# 3

## 足腰を強め新分野へ挑戦

### 現状

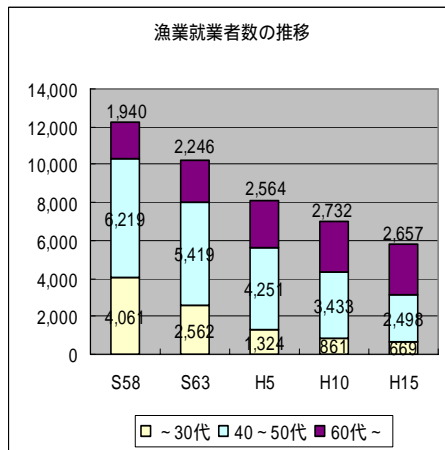
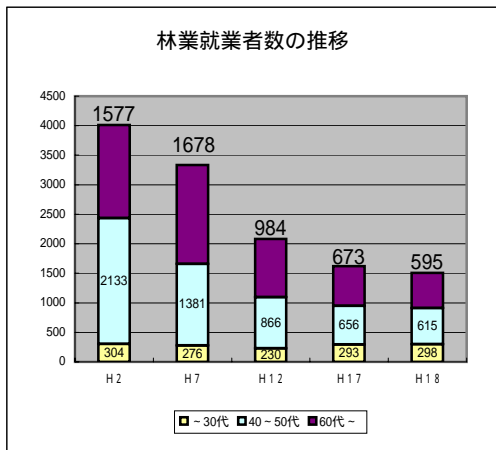
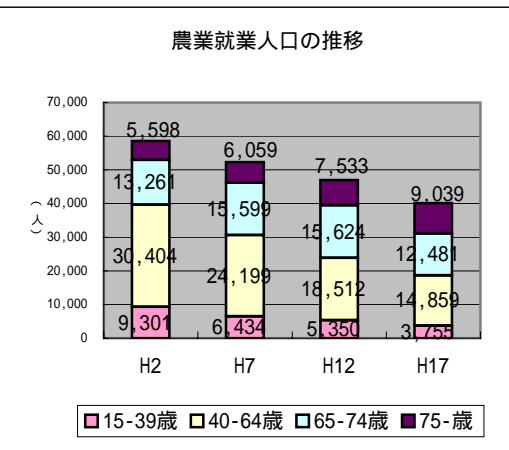
強みのある分野ほど足下から衰退

第1次産業の生産地であっても、少子化・高齢化が進み、担い手が不足



### 目指す方向

- 1 生産地の足腰の強化と担い手の育成
  - 生産地の足腰の強化
  - 担い手の育成・確保
  - 事業継続の支援
  - 新規就業促進への支援



十年後は、強みが強みでなくなる...



### 取組の柱

#### 生産地の足腰の強化

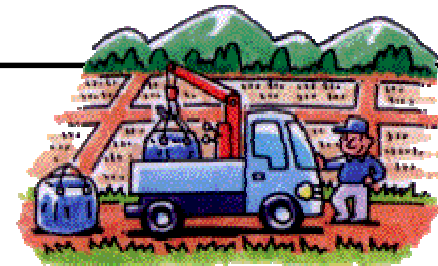
**農** まとまりによる高いレベルの産地形成に向けて、学び教え合う仕組みづくり(ほ場170箇所) 生産～流通・販売に至るまで、県下全域で農産物の安全・安心を確立 (土づくり対策、有機農業支援、生産対策(IPM技術確立と定着)、省エネルギー対策等) **収益性の高い園芸品目等の産地化、機械の共同利用等により所得を向上** (「こうち型集落営農」の実現)

**林** 「森の工場」による効率的な生産システムの構築と販売力の強化

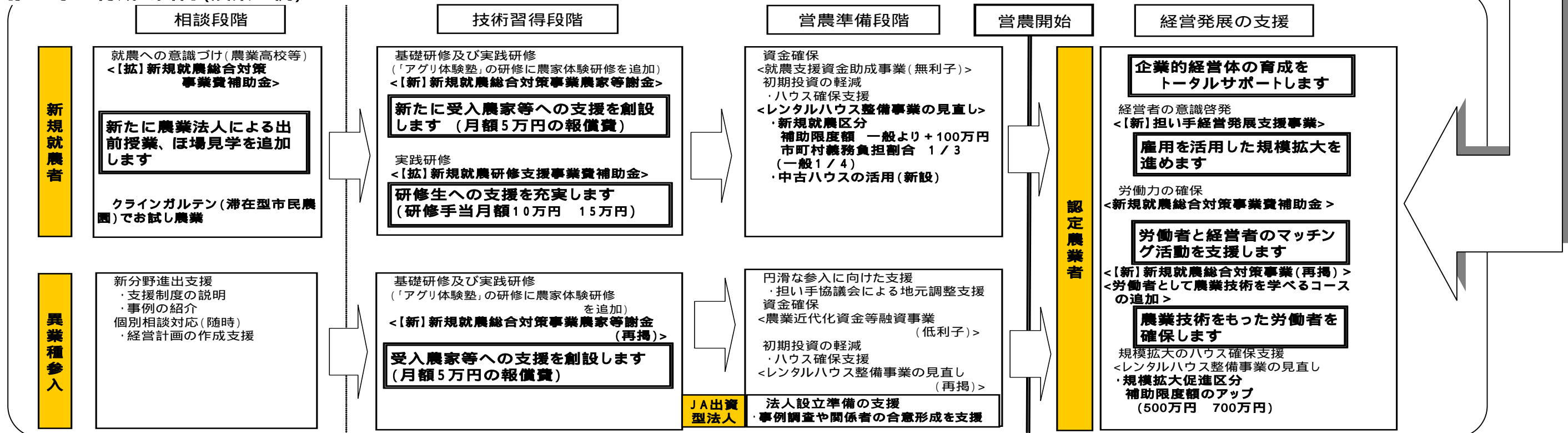
**水** 県漁協による流通販売強化で「土佐の魚」の付加価値向上

#### 担い手の育成・確保

- (1) 事業継続の支援
  - 認定農業者の育成
- (2) 新規就業促進への支援
  - 移住コンシェルジュ制度を設け、ワンストップで県外から失業者、退職者の本県への移住を促進
  - 研修、住居、生産手段の確保をパッケージとした就業支援
  - 受け皿となるJA出資型法人の設立をサポート



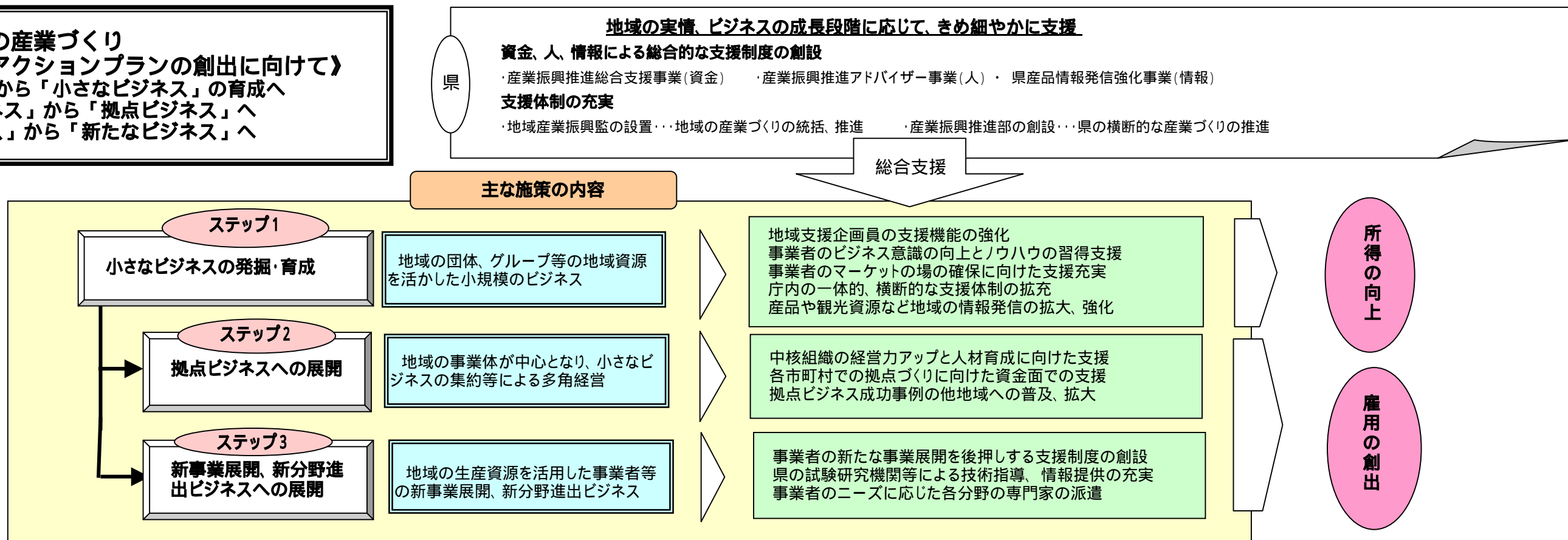
#### 【担い手の育成・確保】(農業の例)



## 目指す方向

**2 中山間地域の産業づくり**  
**《新たな地域アクションプランの創出に向けて》**  
 販わいづくりから「小さなビジネス」の育成へ  
 「小さなビジネス」から「拠点ビジネス」へ  
 「拠点ビジネス」から「新たなビジネス」へ

## 取組の柱



## 目指す方向

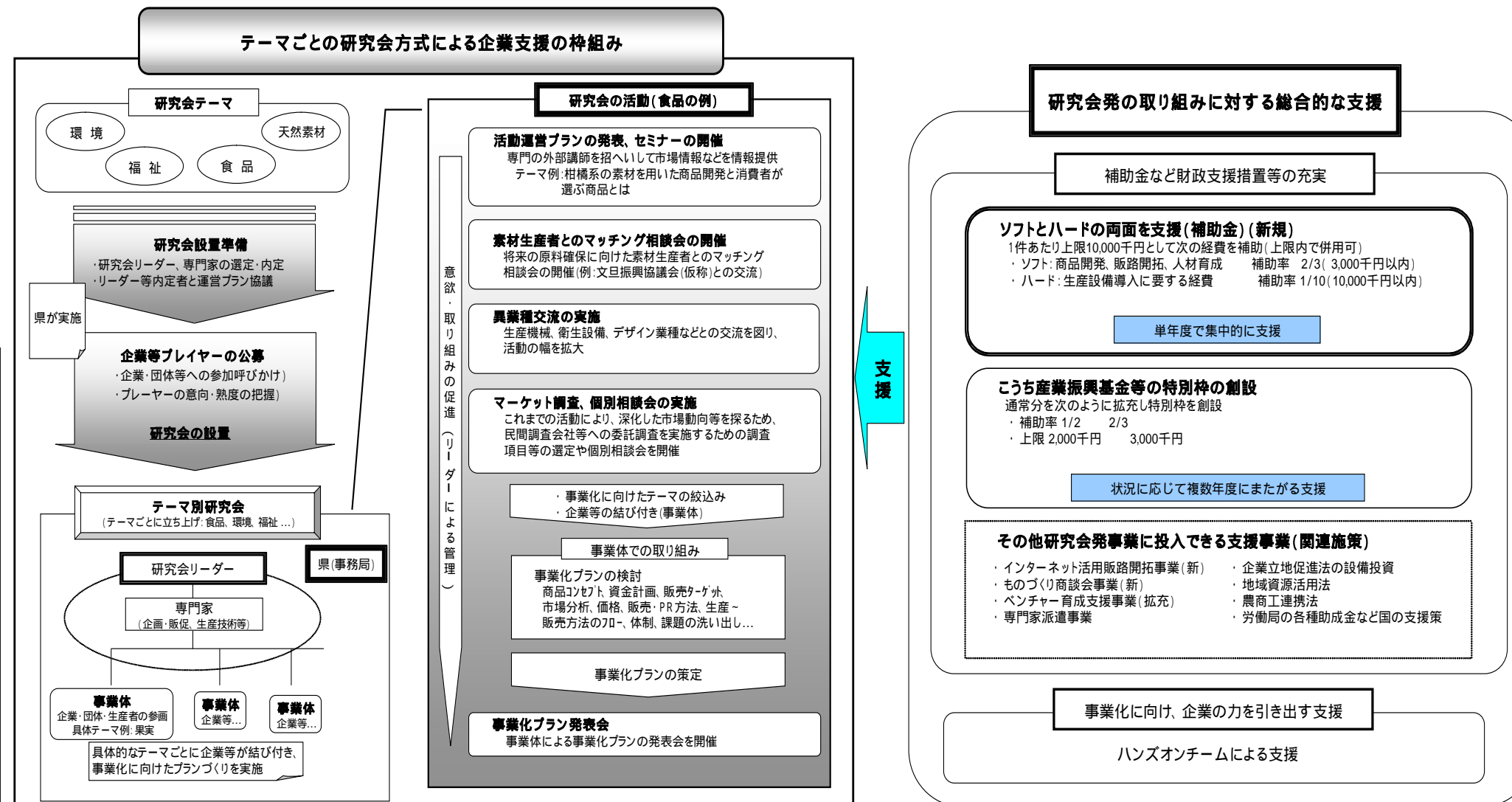
**3 新産業の創出**  
 新たな成長分野の育成  
 地域の素材を活かした新事業展開

## 取組の柱

**テーマ別研究会の設置**  
 ・マーケット調査や素材生産者とのマッチングを通じ、事業化プランの策定を支援（健康福祉、環境、天然素材、食品加工）  
 ・更に、事業化に向けてソフト・ハードの補助事業や新事業創出支援チームによる総合的な支援

特に、福祉サービス分野では、子どもから高齢者まで多様な方への福祉サービスを提供する「あったかふれあいセンター」を設置、新たな雇用を支援（まずは県内10箇所）

まんがなどのコンテンツビジネス推進組織を設置  
 ・ビジネスマッチングにつながるデータベースシステムの構築  
 ・見本市の開催  
 ・クリエイターの人材育成など



# 地域アクションプラン

県内7ブロックに分け、それぞれ地域の特徴を踏まえた地域の産業についての将来像や重点化の方向  
 地域に根ざした取り組みを位置付け  
 産業成長戦略を地域で具体化する取り組みを位置付け  
 市町村の枠を越えた広域的な取り組みを位置付け

## 仁淀川地域

地域の特徴を活かした多様な農業の展開(基幹品目の生産性及び品質の向上、高糖度トマトの新たなブランドの立上げ/「仁淀川流域茶」のブランド化、薬用作物の産地の拡大)/「土佐和紙」の販売の促進(手すき和紙の県内外での消費拡大)/滞在型・体験型観光の仕組みづくり(広域連携による体験型観光や食観光の推進)

- 地域の基幹品目及び推進品目等の産地の維持・発展
- 仁淀川流域茶のブランド化を主体とした茶の振興
- 薬用作物の産地拡大による所得の向上
- 力強い高糖度トマト産地の確立
- 間伐の推進
- うるめのブランド化
- 「土佐和紙」の販売促進
- 体験型観光・食観光の推進
- 仁淀川流域を中心としたジオパークへの取組による交流人口の拡大 など

## 高幡地域

滞在型・体験型観光の推進(森林セラピー、漁業体験、龍馬伝、ホビー館誘致など)/地域産物を活用した1・5次産業の振興(ハモ、ウルメ、シラの加工など)/森を活かす取組(森の工場の推進、森林認証材の販売拡大、木質バイオマスの活用促進、協働の森など)

- 園芸品目等の地域基幹品目の振興
- 地消地産推進プロジェクト
- 森の工場の推進
- FSC認証住宅の促進
- 木質バイオマスの推進
- シラを柱とした水産加工業の創設
- 須崎市まち全域がサービスエリア構想推進事業
- 「かつお」まるごと商品開発プロジェクト
- 拠点ビジネスの推進
- 教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備
- 海洋堂ホビー館の誘致 など

## 幡多地域

滞在型・体験型観光の推進(観光圏整備事業の活用、地域コーディネート組織の整備、グリーンツーリズム、ブルーツーリズムの推進など)/地域産物を活用した1・5次産業の振興(しみずの元気再生事業、黒潮印の商品開発、宿毛の直七・魚の加工施設など)/地域基幹品目等の生産拡大と流通・販売対策(キュウリ、ミョウガ、ナス、ニラ、大葉、ブタン、ユズなど)

- 消費者から信頼される「施設園芸野菜の産地づくり」
- 「果樹(ブタン・ユズ)の産地づくり」
- 森の工場・間伐の推進
- 「四万十の家」の建築と地域産ヒノキの販売の推進
- 四万十川の資源を活かした環境ビジネスの創出
- 資源管理型・つくり育てる漁業の推進
- 地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業
- 拠点ビジネスの推進(大月町まるごと販売事業)
- 「黒潮印」の商品開発
- 「子ども農山漁村交流プロジェクト」受入事業の推進
- 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進 など

## 高知市地域

地域の特徴を活かした多様な農業の展開(有機・無農薬等Eco農業の推進)/中心商店街での販売拠点づくり(アンテナショップの設置や「おかみさん市」の拡充)/魅力ある観光戦略の展開(食観光の推進、よさこい祭りの有効活用、「龍馬伝」を契機とした龍馬の新たな魅力づくり)

- 鏡川流域での有機・無農薬等Eco農業と薬草の里づくり
- 稲ホールクロップサイレージを核にした耕畜連携の推進と二期作文化の復活
- 竹バイオマスの有効活用
- 高知県漁協直販施設での鮮魚等の販売促進
- 土佐のものづくり企業における地産外商の推進
- コンテンツビジネスの創出
- 中心商店街でのアンテナショップの開設
- 体験型観光推進のための組織づくり
- 「よさこい」を通じた観光客の誘致と「よさこい」ブランドの確立
- 「龍馬伝」を契機とした観光の振興
- 食による観光の推進と地域物産との連携 など

## 嶺北地域

れいほくブランドの園芸産地の確立及びユズ加工の拠点化(「れいほく八菜」などの振興)/肉用牛産業の経営安定化及び新たな畜産業の展開(「嶺北牛」の振興及び「土佐はちきん地鶏」の定着)/嶺北材の増産及び販路拡大(「れいほくスケルトン」の施工性能の向上等)

- れいほくブランドの園芸産地の確立とユズの加工拠点づくり
- 肉用牛飼育の競争力の確保による肉用牛産業の再興
- 土佐はちきん地鶏を活用した新しい産業の展開
- 「れいほくスケルトン」の性能向上及び販売促進
- 大型製材工場の誘致による地域材の利用の促進
- 地域産品販売ポータルサイトによる商業展開・情報発信
- 嶺北地域の連携による交流人口の拡大 など

## 物部川地域

産地の「まどまり」を基調とした生産から販売までを見通した取組/豊富な地域資源を活用した1・5次産業化の推進(農産物加工等への取組、シラの加工商材活用など)/地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興

- 地域特性を生かした土佐香美園芸主幹品目の振興
- 生産者と消費者をつなぐ場づくり - まずは農家レストラン -
- 大学生による地域応援団(サポーター)づくり
- 農産物加工等への取組計画
- シラの加工商材活用
- 「ごめん」をブランド化 - トライアングルゾーンの活性化 -
- 地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興
- 体験観光型メニューの滞在型旅行商品化アクションプラン など

## 安芸地域

二つの日本一を有する産地機能の維持強化(ナスの産地づくり、ユズを中心とした中山間地域の農業振興)/漁家所得向上への取組(キンメダイのブランド化に向けた取組、新たな漁業の導入とシラス魚価等の向上など)/広域的に連携した観光の仕組みづくり

- ユズを中心とした中山間地域の農業振興
- 土佐ジローの生産拡大
- 上土佐(かみとさ)備長炭販売促進事業
- キンメダイのブランド化に向けた取組
- 新たな漁業の導入とシラス魚価等の向上
- 海洋深層水の利用拡大
- 地質資源を活かした交流人口の増加(世界ジオパーク認証に向けた取組)
- パーデハウス室戸を核とした健康観光産業
- 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大
- 龍馬伝を活かした観光振興 など

計画の実践に取り組む事業者をワンストップで強力に支援します。

県民の皆さんと協働で着実に計画を推進します。

県は、公正性を確保しつつ、人と資金の両面から徹底的に支援します。

### 人的支援

**産業振興計画を推進する強力なエンジンとして、産業振興推進部を新設します。(総人員:123名)**

- 産業振興計画全体の実行をコーディネートするとともに、産業別の成長戦略と食品加工のような関係部局が連携した取り組みを推進します。
- 併せて、知事を本部長とする「産業振興推進本部」を設置し、県庁を挙げて計画の推進に取り組みます。

**地域アクションプランの実行を支援する体制を地域ごとに整備します。**

- 県内の各ブロックごとに「産業振興推進地域本部」を置いて、「地域産業振興監」のもとで各出先機関、地域支援企画員等が連携して取り組む体制を整備し、個別プランごとに、事業計画の作成段階から実行まで、ワンストップで支援します。

### 資金的支援

**産業振興計画に位置付けられた事業を対象に、生産から販売に至る各段階で支援を行う総合補助金を創設します。(予算額:10億円)**

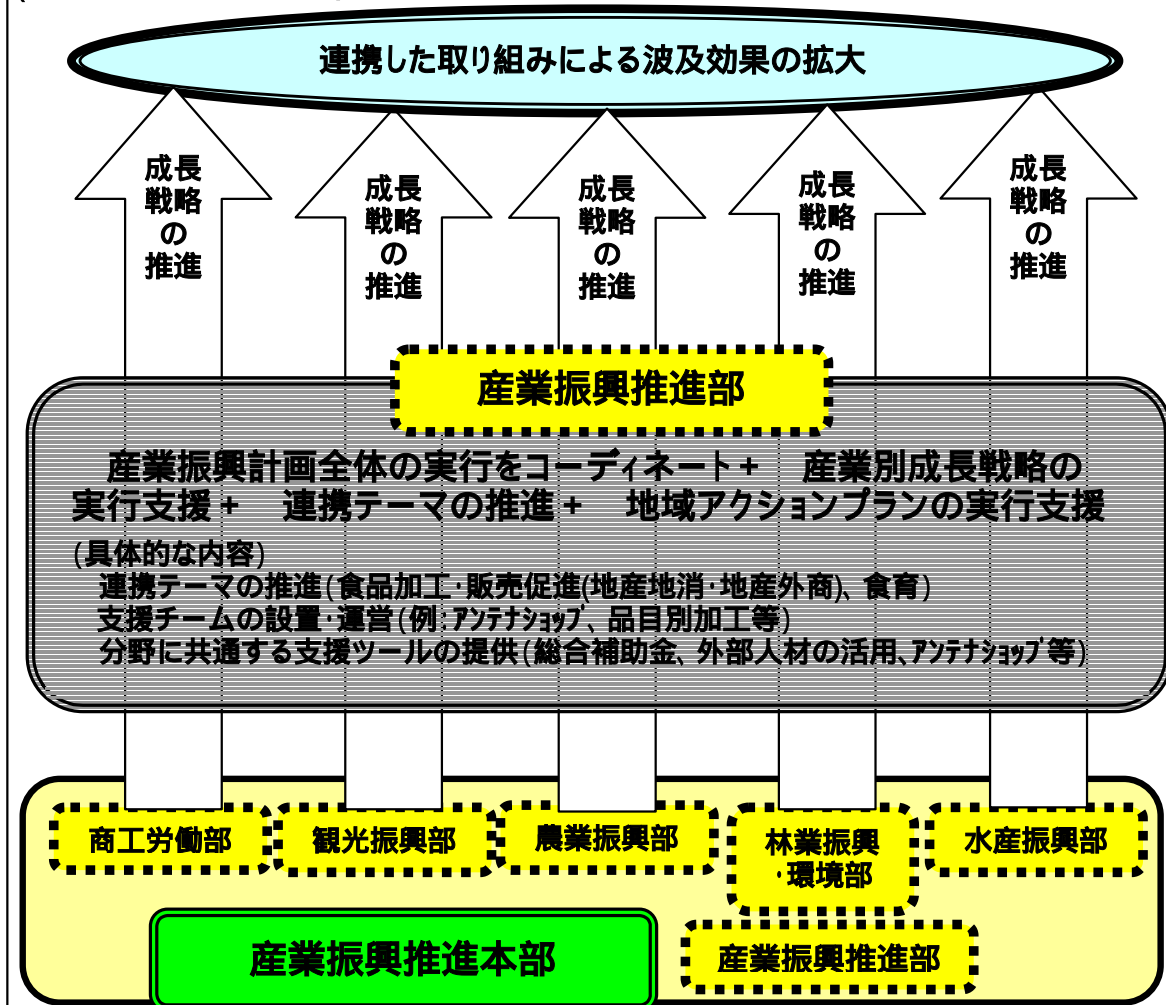
- 補助率:原則 1/2以内(但し、経済波及効果が高いと認められる取り組みは、2/3以内)
- 他の事業(国・県)への継ぎ足し補助の実施 最大2/3まで嵩上げ
- 一定の要件を満たす場合には、企業のハード整備にも補助(1/2以内)

**商品開発や販路開拓等の各産業分野に共通して活用できる支援策を実施します。**

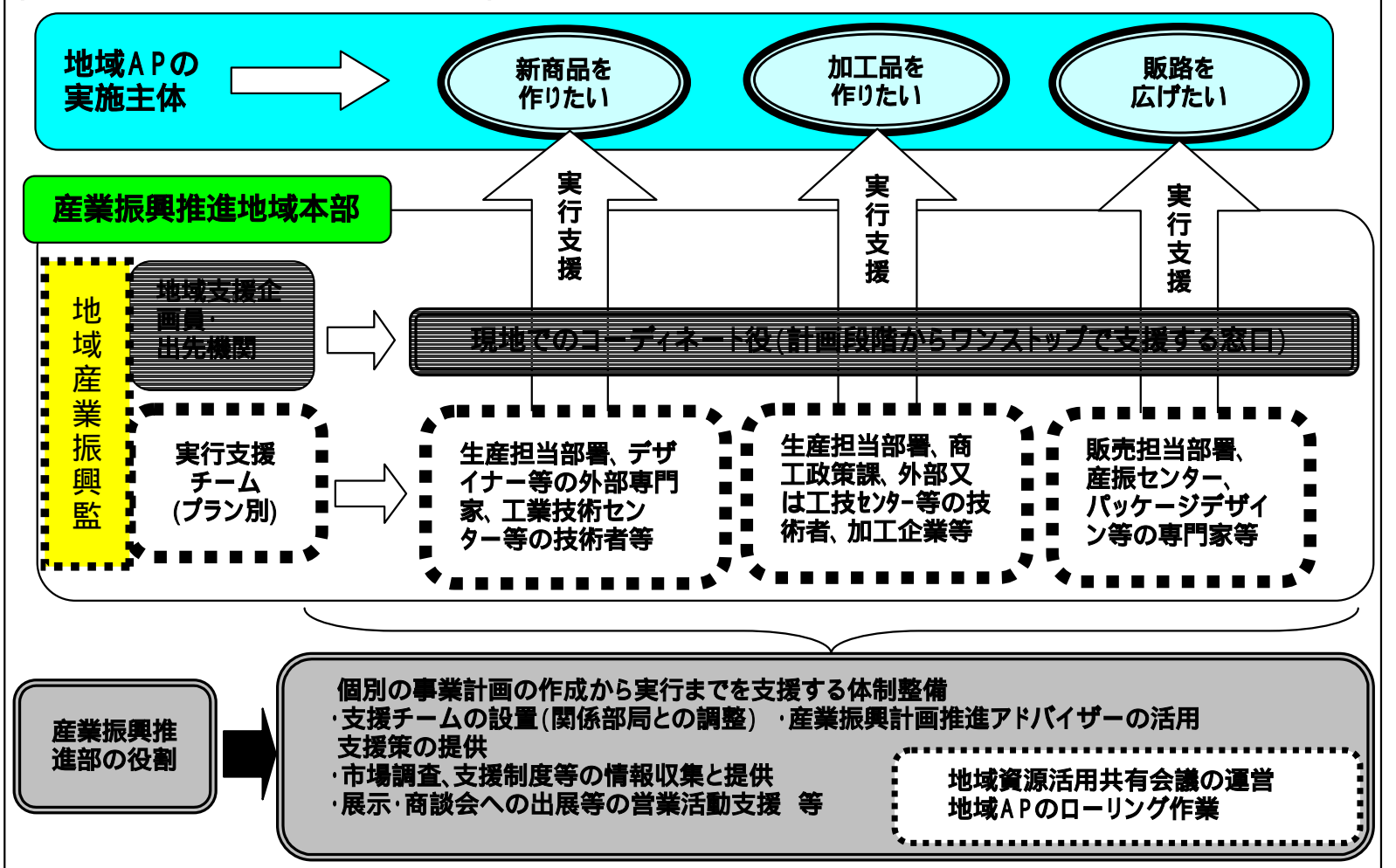
- アドバイザー派遣、首都圏アンテナショップの設置、eコマース、商談会・見本市 等

### 産業間連携の推進体制、及び地域アクションプランの実行支援体制

(産業間連携の推進)



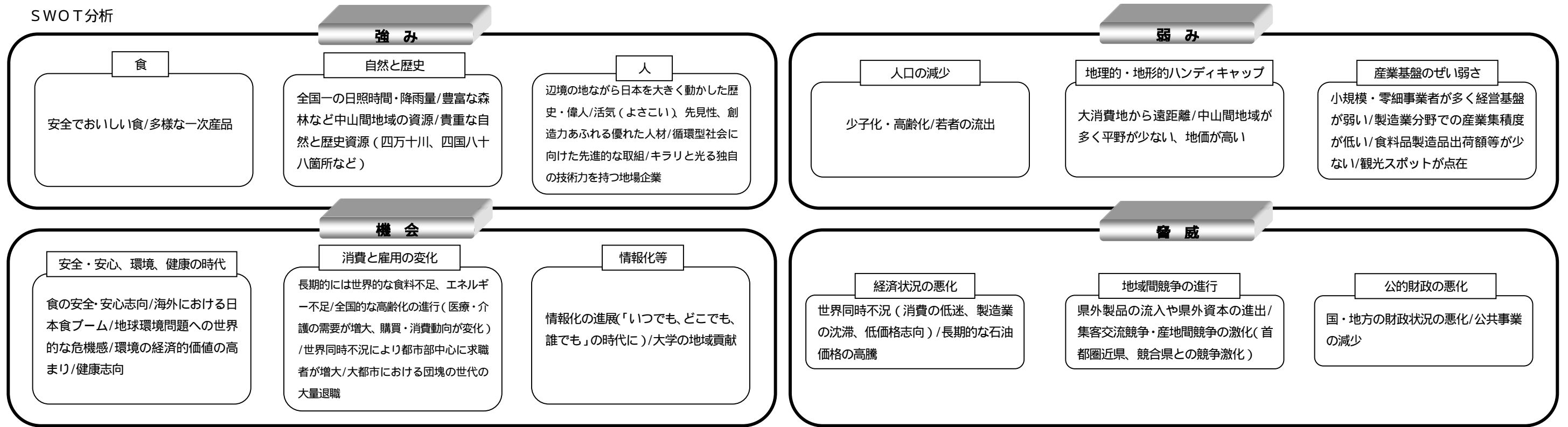
(地域アクションプランの実行支援)



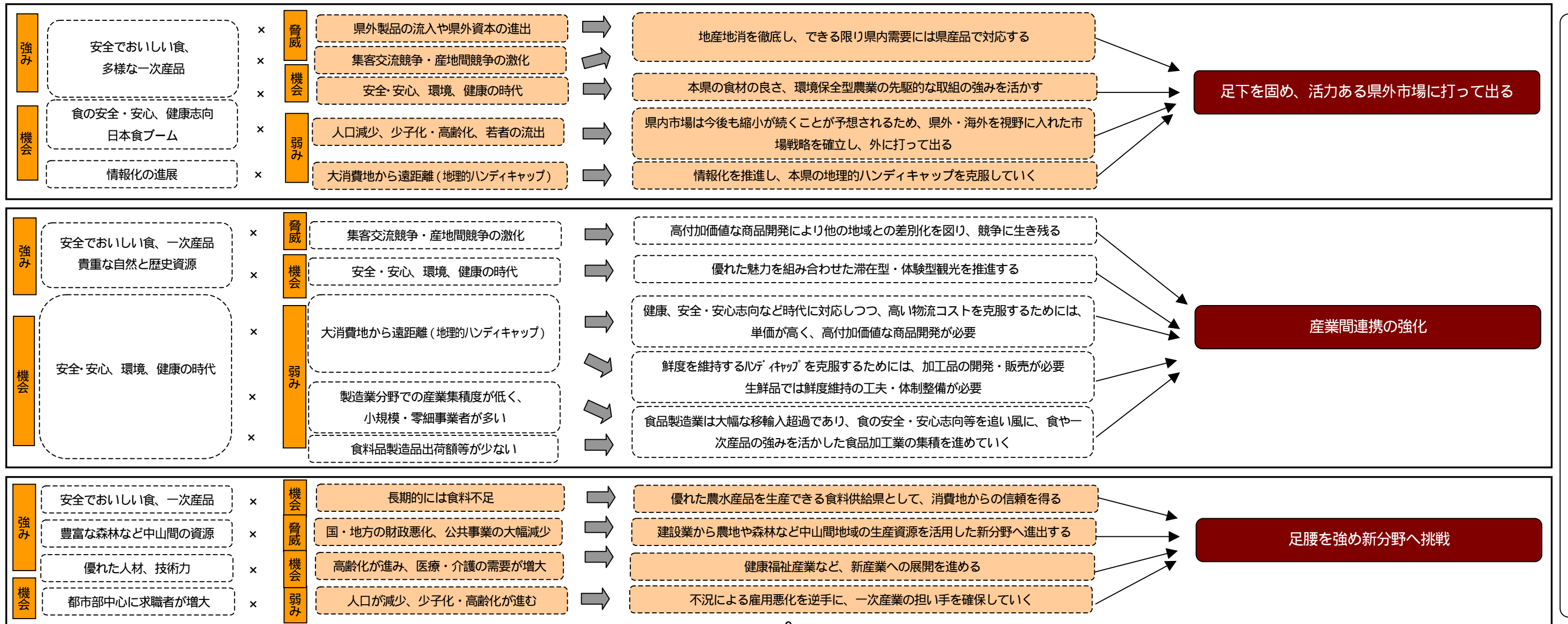


# SWOT分析と改革のための3つの基本方向

## SWOT分析



## 本県の考えられる方向性、必要性のある取組



高知の強みを磨き、余すところなく売り出す